



一人ひとりの夢・思いを大切に しなふくニュース

編集人 しなふくニュース編集委員会 発行人 市原 勝祐
発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1
電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail info@shinafuku.org



目次

- (1) らうんじ
- (2) 新年の挨拶
- (3) しなふくさんぽ
- (4) 品川区長と長寿を祝う会
救急業務協力者表彰
- (5) ボランティア紹介
しなふく紅葉フェスタ報告
- (6) 豆知識・ボランティア講座案内・しなふくの窓

らうんじ

ります。

事業の改善に全力を挙げて取り組んでいます。

保護、虐待防止」です。第二は「人材の確保、育成、定着」、第三は「収支改善」であり、本年は、この計画に沿って法人事業の改善に全力を挙げて取り組んでいます。

と考えるべきです。

人事給与制度の改正も昨年七月に改正案がまとまり、すでに一部を実施いたしました。本年四月から全面的に実施し、法人経営改善の取り組みをさらに進めたいと考えております。

また、一昨年から検討して参りました人事給与制度の改正も昨年七月に改正案がまとまり、すでに一部を実施いたしました。本年四月から全面的に実施し、法人経営改善の取り組みをさらに進めたいと考えております。



理事長 市原 勝祐

改正社会福祉
明けまして
おめでとうござ
います。
一昨年は、

平成三十一年
新年の挨拶



常務理事
小野 孝

明けましておめでとうござ
います。
皆様には、お健やかに新し
い年をお迎えになられたこと
とお慶び申し上げます。

昨年は、人事給与制度の大
幅な改正を実施し、職員の処
遇改善と持続的な経営が可能
となる人件費管理の仕組みを
スタートすることができました。
また、「品川総合福祉セ
ンター未来創造図（中長期基
本方針・計画）」の前半五年
を総括し、三年間の実施計画
として「中期経営計画」を策
定いたしました。

今年は、これらに基づき着
実に法人の経営改善を進めて
まいります。
皆様のご支援をよろしくお
願いいたします。



事務局次長
加藤 久明

新年のお慶びを申し上げます
昨年中は法人運営に際し、
多くの皆様のご厚情に心より
感謝申し上げます。

さて、ボランティアの皆様
方には法人開設時から三十有
余年活動を継続してくださっ
ている方が何人もいらっしや
います。当法人の宝物です。
「地域とともに」、当法人が
開設時から大切にしてきた理
念や文化をこれからも継承し
つつ、その時々で最良の法人
経営、施設運営を進めていか
なくてはなりません。

次代の法人を担う人材育成
に本年も力を尽くしてまいり
ます。
本年も何卒よろしくお願
いいたします。

障害者施設統括施設長

長野美行

明けましておめでとうござ
います。

昨年は日中の活動の内容を
見直し、特に利用者の皆様と
個別に対応する時間を充実さ
せました。利用者の方々の状
態に合わせて、日常生活の中
で少しずつ改善を重ね、さら
にご家族やボランティアの方
々にたくさんのご協力をいた
だき、成果に結びつけました。
現在、利用者の平均年齢は
上がり、健康管理や体力づく
り等も重要な課題です。これ
からもかもめ園でより楽しく
有意義に暮らせるように、利
用者お一人おひとりに合った
支援を進めます。

高齢者施設統括施設長

宮田健一

明けましておめでとうござ
います。

品川区では「わ！しながわ」
と区の魅力を全国に発信して
いますが、日本人には和の精

神があり、それぞれが力を発
揮して、調和がとれている状
態のことだそうです。

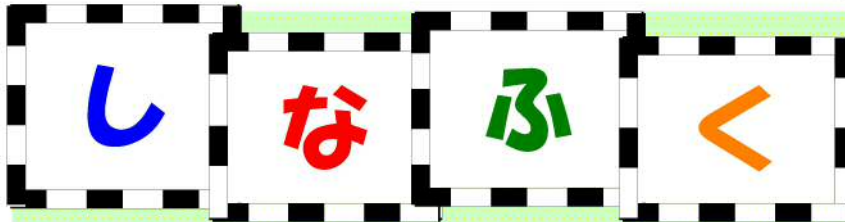
品川総合福祉センターでは、
「地域とともに」というビジョ
ンを掲げており、地域住民の
お力を借りながら誰かがいつ
までも地域に住み続けること
が出来よう、力を尽くしてい
きたいと思っております。

高齢者施設統括施設長

菊池広美

明けましておめでとうござ
います。

福祉施設・入所施設はお正
月らしい雰囲気の中で、おせ
ち料理を食べたり、イベン
トを楽しみます。職員は三百六
十五日二十四時間の勤務で、
お正月らしさを味わうのも施
設の中だったりします。利用
者の笑顔と生活を支えるため
に、年末年始も変わりなく仕
事をしている職員に感謝しつ
つ、改めて、職員が誇りを持
てる施設、社会福祉法人にし
ていきたいと思ひます。



さんぽ

昨年より始めました企画「しなふくさんぽ」第三弾です！！

品川区の興味深い場所・旬な情報を、編集委員が足を運び取材し、シリーズで年1回お届けしています。「しながわ歌留多」※の『ふ』の文字札は、『ふるさとの ねんねのねむの木 子守唄』。

今回はねむの木の庭 旧正田邸に注目しました。天皇皇后両陛下が、御視察のため、以前、本部にいらしたことはご存知ですか？

新年を迎え、旧正田邸、ゆったりお散歩してみたいはいかがでしょうか。



ふるさとの
ねんねのねむの木
子守歌

※(株)スラップショット制作



1996年（平成8年）12月9日、天皇皇后両陛下が品川総合福祉センターご視察くださった当時の記事

ねむの木の庭とは、皇后陛下のご実家、旧正田邸の跡地を、品川区が取得し整備した公園で、園名は皇后陛下が高校時代に作詞した「ねむの木の子守歌」からつけられたものだそうです。

この公園には、皇后陛下に思いを馳せていただけるよう、ご成婚当時の門を再現したり、皇后陛下ゆかりの

一九九六年（平成八年）十二月九日「障害者の日」に、天皇皇后両陛下が品川総合福祉センターを御視察され、多くの利用者の方々にお声掛けくださり、労いや励ましのお言葉をいただきました。また、作業をご視察下さった際に、皇后陛下は多当紙の袋入れをしてくださいました。かえで庄の利用者の方は、「長生き

したおかげで・・・」あとは声にならなかったそうです。品川総合福祉センターと皇后美智子様とのご縁はこの頃にかのぼります。



しなふくニュース

No. 56

平成9年発行号



プリンセス・ミチコ

開花時期

春5月中旬

秋10月中旬



ねむの木の花



ねむ合歓の木
花言葉「歓喜」

樹木や、歌の中でも読まれた樹木、草花が多数植えられています。

編集担当職員も公園のシンボルとなるねむの木を見て来しました。園内のどの位置からでも眺めることができます。



ねむの木の庭の門

長寿を祝う会



平成三十年九月六日（木）、かえで荘では、品川区長のご来訪に合わせ「長寿を祝う会」を開催しました。

敬老の日を前に、濱野区長と品川区社会福祉協議会の池田会長が、かえで荘に長寿のお祝いの品を届けてくださいました。お祝いに訪れた濱野区長は「これから健康に十分に注意をされ、さらに長生きされるよう祈念します」とお祝いの言葉を述べられ、お祝いの記念品を手渡しくださいました。かえで荘からは、利用者がお礼の言葉を述べ、利用者の皆さんが作成し

た花ふきんを来訪者の皆様にお渡ししました。かえで荘には、百歳を迎えた利用者のほか、百歳を超えられた方お二人と、節目（白寿、卒寿、米寿、傘寿）となる方々が十数名いらっしゃいます。



濱野区長、品川区社協 池田会長とともに
長寿をあやかり、皆さんで記念撮影

これから、元気で楽しく穏やかな生活を、施設職員・ご家族様と協力して支えていくことが出来るよう努めてまいります。

救急業務協力者表彰

救急法をご存知ですか。ケガや病気で意識がなくなったり出血や心肺停止などの時、医師の治療が始まるまでの間に行う「応急処置」や「救命処置」などの一時的な手当のことです。特に心臓が停止した状態で三分以上経過すると五十%の方が亡くなると言われています。命を救うための最も重要な対応が救急法です。

品川総合福祉センターでは、一年間に八十名以上の職員が、消防署で行われる救急救命講習に参加しています。心肺蘇生法（心臓マッサージ、人工呼吸）やAED（自動体外式除細動器）の使用方法を学び、救助を必要とする方に落ち着いて的確に対応できるように、日



ごろから訓練しています。このことが人命を救う大きな力となっています。AEDも各事業所に配置しています。このような、利用者の命を守るために、また、地域の皆様に貢献し救急業務に取り組



感謝状をいただき、
救命に向け決意新たに

む姿勢が認められ、このほど品川総合福祉センターが救急業務協力者として表彰されました。これを励みとして、これからも緊急時にしっかりと適切に対処できる態勢を、さらに強化していきたいと思ひます。

しなふく紅葉フェスタ

去る10月28日(日)「しなふく紅葉フェスタ」を開催しました。



3ガガヘッズ
(ワハハ本舗) 出演!!
最高でした!

利用者の作品に囲まれた屋外のステージでは、日立ソリュショonz吹奏楽団さくら組の皆さんがオーブンニングを飾り、華々しくスタートしました。

地域の子供や大人、障害を



お子さんからご婦人まで、様々なハロウィン仮装に変身! はいポーズ!

お持ちの利用者が同じ舞台上がり、ゲーム大会やフアッションショーで共に楽しみ、模擬店も、今回は自治会の方など地域の方と共に販売を行いました。新メニューが広がり、大好評でした。お買得コーナーも行列がで、会場内ではA



しながわ学園エンタ部のかわいい子供達も、会場も笑顔のはじけました

Iロボットのペッパ君やドラえもんゲーム体験もでき、ガーデンを開放したカフェでくつろぐ方もいらつしやいました。フェスタを通して、地域とともに大いに楽しんだ一日になりました。



ボランティア紹介 中延SC 『朗読サークルこだま』



ある日の活動風景

「朗読サークルこだま」の皆さんは、品川区主催の「朗読ボランティア養成講座」を終了したメンバーで、二〇〇七年十一月に結成されました。メンバーは十名、月三カ所・計五回活動されています。中延在宅サービスセンターでの活動は、メンバーのご家族がご利用されて、活動も活発です。活動していただき、活動することになりました。一回の朗読会

は、約三十分、内容は紙芝居、絵本、小説、エッセー、詩や落語などバラエティに富んでいます。朗読サークル「こだま」代表小田氏にお話を伺うと、実際のボランティア活動のほか、皆さんで、毎週水曜日に勉強会を開き、ボランティアの打ち合わせ、朗読練習を行っていただいています。また、中小企業センターで二年に一度、朗読発表会や品川朗読交流会を一年に二回開催しており、皆さん精力的に活動されています。朗読会では毎回利用者の皆さんが楽しみに聴いており、朗読会後のお茶会では発言が毎回活発に行われて、良い刺激をいただいています。職員一同、とても感謝しております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



皆さん、落語とその雰囲気を楽しんでいます



今回は富士山についてのお話です。

日本一の高さを誇る富士山は日本人にとってやはり特別な山でしょう。以前は本部の窓からもよく見えた富士山ですが一定の場所・時間・条件が揃わないと見る事ができない姿があります。

一つ目は「逆さ富士」です。実際の富士山と、大きな鏡のような湖に映る、もう一つの富士山。湖に映る富士山はゆらゆらと揺れていてとても幻想的でした。

二つ目は「ダイヤモンド富士」です。ダイヤモンド富士とは、富士山の山頂部に夕日が重なり、まるで光輝くダイヤモンドのように見える現象です。夕日が富士山頂に隠れ

豆知識

る一瞬に光輝くダイヤモンドのような輝きは、写真ではとても伝える事はできません。

撮影は高尾山の山頂からです。高尾山から見えるのは極くわずかな限られた期間となりますが、高尾山以外でも一年中で様々な場所から見ることが出来ます。インターネット等で調べて足を運び、あの輝きを自身の目で感じて頂けたらと思います。

なかなか厳しいですが条件がそろえば「逆さ富士」と「ダイヤモンド富士」をあわせた「ダイヤモンド逆さ富士」も見ることが出来ます。普段とは違う特別な姿の富士

山を見られたら、もしかしたら特別な一年になるかもしれません。是非！



後光さす富士山

ボランティア講座案内

講座案内

植物や園芸手法を利用するリハビリテーションとして活動する園芸療法。その考え方を学び、福祉援助や地域ボランティアなどに活かしませんか？

日時…平成31年3月7日（木）

十三時～十六時

場所…品川総合福祉センター

（品川区八潮5-1-1）

内容…「園芸療法とは」植物や園芸作業がもたらす効果講師…澤田みどり氏（日本園芸療法研修会代表理事）

定員20名

申込み…2月21日までに、お

電話で

お申込

みくだ

さい。



昨年は定員以上、集まりました

しなふくの窓

の窓

品川総合福祉センターの本部のロビーに水墨画が飾られているのをご存知でしょうか？これはボランティアの得居かつ子様が描き、季節ごとに入れかえてくださっているものです。同じ額ですが、絵が数ヶ月ごとに変わっています。

墨でぼかしの濃淡や明暗が描き出され、水墨画の奥深さを感じます。シンプルなロビーが、この水墨画によって、格式高く見えます。眺めていると、心なしか、気持ちが落ち着いてくるようです。皆様も是非ご覧ください。



作品「秋海堂」
作家：得居和都